

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		
計画の期間	平成31年度	～	令和5年度
計画の目標	交付対象	磐田市	

県道等の主要幹線道路へのアクセス道路整備を推進することにより、安全かつ円滑な交通の促進、地域交流の活性化と利便性の高いまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

拠点間の所要時間の短縮

定量的指標の定義及び算定式

道路整備による県道等主要幹線道路までの所要時間の短縮。

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R5末)	備考
13 分	—	7 分	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,992 百万円	A	3,992 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---------------------------	----

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ

第2期		第3期
分野名		分野名
目標名		目標名
指標名	目標値	指標名
		目標値

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄） —：その他（備考欄に具体的に記入（中止、未実施等））
（計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●：本計画の期間中に完成 ▲：本計画の期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄））

A1 道路事業													全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)							
											H31	R02	R03	R04	R05			
A01-001	道路	一般	磐田市	直接	磐田市	市町村道	改築	(1) 一色宇兵衛新田幹線(第1工区)	バイパス 0.46km	磐田市						589	△	R8
A01-002	道路	一般	磐田市	直接	磐田市	市町村道	改築	(1) 一色宇兵衛新田幹線(第2工区)	バイパス 0.45km	磐田市						602	△	R8
A01-003	道路	一般	磐田市	直接	磐田市	市町村道	改築	(1) 磐田山梨線	バイパス 0.53km	磐田市						2,239	△	
A01-004	道路	一般	磐田市	直接	磐田市	市町村道	改築	(2) 西之島岩井線 外1路線	道路整備 0.49km	磐田市						107	○	
A01-005	道路	一般	磐田市	直接	磐田市	市町村道	改築	(1) 大立野福田幹線	バイパス 0.7km	磐田市						455	△	
											合計					3,992		

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)								
											H31	R02	R03	R04	R05			
											合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗状況	備考
										H31	R02	R03	R04	R05			
										合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	要素事業である西之島岩井線外1路線の整備事業については、県道へアクセスするための重要な路線の整備事業であり、当該箇所は周辺に工業地域があり、自動車・自転車・歩行者の往来が頻繁である。物流及び交流の活性化及び渋滞の解消に寄与した。														
II 定量的指標の達成状況	指標①（幹線道路整備による走行時間短縮）	最終目標値	7分	目標値と実績値に差が出た要因	要素事業の多くで計画通りの事業費を確保できず、整備が進まなかったため、令和6年度以降も継続して事業を行っている。										
		最終実績値	7分												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	大立野福田幹線に関しては県道磐田掛川線との交差点部分が整備されたことにより、安全かつ円滑な交通が確保されたため、小中学校の通学路としても利用されている。														

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も社会資本整備総合交付金を活用し、県道等の主要幹線道路を結ぶアクセス道路の整備を進め、安全かつ円滑な交通の促進や渋滞対策を推進し、地域交流の活性化と利便性を図る。

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	交付期間終了後 令和6年度
磐田市建設部公共事業評価審査会に諮り実施	公表の方法	市のホームページへ掲載

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	交付団体	磐田市
計画の期間	令和元年度～令和5年度（5年間）		

